

NPO法人フリースクール札幌自由が丘学園 クラウドファンディング
『経済的理由を乗り越えてフリースクールを利用できるよう「授業料補助」を継続したい』
応援メッセージ No. 4



北星学園大学 文学部心理・応用コミュニケーション学科
准教授 片岡 徹

『希望の樹としてのフリースクール札幌自由が丘学園』
応援メッセージ

フリースクール札幌自由が丘学園について思う時、私はシェル・シルヴァスタインが書いた絵本『おきな木』を思い起こすことがあります。その原題はGiving Treeであり、直訳をすれば「与える木(樹)」です。絵本を通じたメッセージの一つは無償の愛であり、人が成長をする際にはその人を支える人が必ずいます、という希望に満ちたメッセージが込められています。『希望の樹』は貴学園から定期的に送って頂いている通信ですが、まさに貴学園の実践はこの絵本のメッセージと共鳴していると私は感じています。

私が所属する学科では2年次にフィールド実習という科目があり、学生達が現場に飛び込んで学ぶ機会を設けています。その科目の教育系(児童会館またはフリースクール)を私は担当しており、フリースクール札幌自由が丘学園で学生達がお世話になっています。この縁があり、スタッフの皆さんから学生とともに私も今日にいたるまで、数多くのことを学んでいます。

中心的なスタッフである新藤先生と高村先生は、全ては目の前にいる生徒たちのために、日々献身的に、そして誠実さを持って接している方々です。その関わりを通して、生徒たちが自らの希望を実感することができるだけでなく、スタッフの方々も目の前の生徒たちを通して生徒たちが歩む未来に希望を見出しているのだと思います。これらのことは私だけではなく、スタッフの方々も接したことがある方々であれば共感して頂けることでしょう。

今後ともフリースクール札幌自由が丘学園が〈希望の樹〉として活動を進めていくことができるように、私も引き続きその一助になりたいと思っています。その願いを込めて、下記にメッセージを送ります。

- 【じ】自由が丘の旗印のもとで
- 【ゆ】夢や希望を語り合う仲間達
- 【う】嬉しいことも、悲しいことも
- 【が】学園で共に向き合い続けてきた仲間達
- 【お】お互いに成長し、そして高め合う
- 【か】かけがえのない心の拠り所